

A 重点実践事項に基づいた評価

重点実践事項	評価項目	評価 ()は1回目
1 信頼される学校づくりの推進（選ばれた学校づくりの推進）	(1) 特別支援教育における専門性の研修は充実しているか。 ・ 本校の肢体不自由教育の専門性の明確化と年間計画に基づく研修の実施（医療的ケア、摂食指導） ・ やまびこ医療福祉センターとの連携による自立活動の研修 ・ 学習効果を高める教材・教具の開発と工夫・改善	3. 3 (3. 3)
	(2) 保護者ややまびこ医療福祉センターとの「支援会議」を軸とした「個別の教育支援計画」を作成し活用しているか。	3. 3 (3. 1)
	(3) 児童生徒の的確な実態把握に基づいた「個別の指導計画」を作成し評価しているか。	3. 3 (3. 3)
	(4) 学級通信や学校だよりなどの直接的な情報発信により保護者との連携は強化されているか。	3. 4 (3. 4)
	(5) 業務の精選や改善による効率的な教材研究や授業作りは行えているか。	2. 9 (3. 1)
2 本校の現状と課題を踏まえた実践的研究の推進	(1) 確かな授業改善につながる研究を推進（授業力向上プログラムの推進）しているか。	3. 1 (3. 2)
	(2) 障害の重度・重複化及び多様化に対応する教育課程を編成し、授業を実践（テーマ研究との連携）しているか。 ・ 教育的ニーズに基づいた教育課程の編成及び研究テーマに基づいた授業実践	3. 0 (3. 2)
	(3) 新学習指導要領全面実施に向けての要点等の計画的な研修を実施しているか。	2. 8 (2. 7)
3 教育環境の安全対策と危機管理体制の充実	(1) 安全点検に基づく安心・安全な教育環境を整備しているか。 ・ 施設改修に伴う教室等の安全確保	3. 4 (3. 4)
	(2) 安心・安全な医療的ケアを実施しているか。また、医療的ケア体制は充実しているか。 ・ 医療的ケアの基礎的研修の充実とやまびこ医療福祉センターとの連携	3. 7 (3. 6)
	(3) 多様な指標に基づくきめ細かな健康観察は充実しているか。また、新配慮事項を作成し、教育活動に活用しているか。	3. 5 (3. 4)
	(4) 保護者及びやまびこ医療福祉センターと連携した効果的な感染症対策を推進しているか。	3. 7 (3. 6)
	(5) 大規模災害等緊急時の保護者への対応及びセンターや地域の消防・警察などとの連携は図られているか。（ヘルプカードの活用とやまびこ医療福祉センターとの共同訓練等）	3. 1 (3. 2)
4 地域における特別支援教育の推進	(1) 学校見学会や巡回相談等によりセンター的機能は発揮されているか。	3. 4 (3. 5)
	(2) 共に学び合い、互いに関わり合う交流及び共同学習を推進しているか。 ・ 地域の小・中学校や施設・団体 ・ やまびこ医療福祉センターや鹿児島養護学校	3. 2 (3. 4)
	(3) 支援の必要な子供やその保護者、関係者に対する教育相談は充実しているか。	3. 2 (3. 4)
5 肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進	(1) 肢体不自由教育の今日的課題の研修（基礎的環境整備と合理的配慮等）は充実しているか。	3. 0 (3. 3)
	(2) 児童生徒の将来の生活を見据えたキャリア教育を実践しているか。	3. 0 (3. 3)

※ 評価【4：十分達成できている，3：おおむね達成できている，2：やや不十分である，1：不十分である】

<まとめとして>

- 全体的におおむね「達成できている」という結果が出ている。
- 実践事項3の(2)「医療的ケア」に関する項目と(4)「感染症対策」に関する項目はポイントが高い。
この項目については、1回目、2回目ともに評価が高かった。これは、日頃から児童生徒の安全や健康について職員・看護師等との協力体制が培われている成果だと考える。医療的ケア委員会や学校保健員会等、各会で指導医のアドバイスを受けながら、今後も保護者や関係機関と連携を図り取り組んでいきたい。
- 実践事項1の(5)「効率的な教材研究や授業作り」と2の(3)「新学習指導要領」に関する項目はポイントが低い。
「効率的な教材研究と授業作り」については、定例会の回数や時期、時間設定を工夫したり、日々の授業実践を授業作りを生かしたりしながら、業務の精選や改善を行い教材研究や授業作りに取り組んできている。今後も時間を有効に活用しながら充実した教材研究や授業作りができるように努めていきたい。
「新学習指導要領」については、各学校へ向けた10月の小・中学校の新教育課程説明会を受けて、本校でも12月に伝達・報告を兼ねた研修会を実施した。平成32年度の実施に向けて計画的に研修を進め、教育課程の編成へ生かしていきたい。
- 1回目の評価と比較して、2回目の評価が全体的に下回っている。
1回目、2回目の評価であるが、全体的には3.0以上であり、おおむね達成できているという評価である。2回目の評価が全体的に低い理由としては、職員の課題意識の変化にあると考えられるが、1、2回目ともに評価が低い項目については、今後各係、学部等で具体的な改善策を検討し、来年度へ向けて取組を工夫していきたい。